

## CCD 雇用の日本人検閲者の労働現場 — 人数、職名、組織

山本武利

CCD には郵便、電信、電話の検閲を行う通信部門と新聞、出版、映画、演劇、放送などのメディアの検閲を担当する PPB 部門があった。CCD の職員は当初は1千人にも達しなかったが、その後は急増し、1947年のピーク時には8700名にもなった。通信部門では郵便局から集めた該当する郵便物から「検閲要項」にひっかかると、現場の監督者の判断で検閲者の手で翻訳される。再照合係やマスターウォッチ係によってさらなる照合、検査がされる。マスターウォッチ係は最重要と判断したものを IRS や TOS に直接渡す。残りのものはビジネス、個人、団体などに仕分けされ、検閲者の大部屋に送られる。問題ないものは逆に郵便局へ返還される。活字メディア、放送、映画などを扱う PPB 部門では、問題のない原稿ならパス、部分的に問題があれば、その部分箇所を削ったもの、つまり部分削除、そしてゲラ全てが読者に公表してならないもの、つまり公表禁止かのいずれかに指示した上で、1部をメディア側に返却し、残り1部を保管していた。

## Japanese Examiner working at CCD — Number, Job and Section

Taketoshi YAMAMOTO

Mail delivered to Preparations from Japanese post office. Mail, after flashing and sorting to Business and Personal mail sections. Work sheets with intercept attached, information slips and comment for PPB from all sections to IRS for processing. Mail examined and released to Preparations. Mail examined and returned to Preparations to Japanese post office. PPB Division is responsible for the organization, administration and supervision of operations of the PPB Division in the District station engaged in the censorship of media employed in the Japanese press, pictorial, and broadcast field.